



外国語活動活発!

A L Tさんと担任で

3年生の外国語活動の一コマです。この授業の内容は、What's this? (これは、何ですか?)です。子どもたちは、カサンドラ先生の英語での質問に、画像を見ながら答えます。

「はーい」という元気な声! 2階廊下に響きます。指名された子どもは嬉しそうに「It's a ○○」と答えています。英語への壁がほとんど見えないくらいに、子どもたちは反応しています。

別の日には、6年生の外国語を見ました。How often do you take a bath? [あなたは、どのくらいお風呂に入りますか?]という質問に、always や usually、sometimes、never で答えます。4人とも理解し、答えています。そのうえ6年生は、英語を書く学習にも取り組みます。書いている様子を観ると、4人ともスムーズに鉛筆を走らせています。なかなかのものです。英語力の向上を感じました。完全に身に付けるには、復習!! 何度も振り返ることが大切とされています。授業で出来たから安心では、忘れてしまいます。英語の力を付けるために、家に帰ってから使うことを進めます。どうぞ家の方でも、習った英語を何度も何度も語らせてください!!

スマホ影響

日本PISA15位

毎日新聞(12/4付)によると、2018年国際学習到達度調査(PISA、ピザ)で日本の子どもたちの読解力が、ここ数年低下し続けている実態が出たと発表された。ここで言う“読解力”は、ある事柄について書かれた複数の資料をみて、その行間を読み取る力という。いわゆる『推論』である。

ある大学教授が、学生に「雇用問題の背景」について自分の考えを記述させたところ、『主語・述語が分からない』『述べている内容があやふや』『段落がなく文を並べているだけ』『漢字の間違い』『文字がとんでいる(脱字)』等の回答をする学生が増えてきていると嘆いていた。沢山の情報が行き交う中で、どれが自分にとって大事な情報なのか全く整理できていない。と追記され、下記のように続いた。

その異変の兆しは、数年前から観られた。学生に一年間でどれだけの本を読むのかを聞いたところ、ほとんどが、「一冊くらい」と応えるという。新聞はおろかインターネットニュースも見ないため、時事問題を尋ねても意見が言えない。「最近の学生たちは、文章を読む経験がひどく不足している。」このままでは、世の中の情報を読み解く力は育たない。」と危機感をにじませていた。

**読書しない子ども!
が、増加。**

また、福岡市のある学習塾の代表は、この低下の原因は、スマホやSNS(ネット交流サービ

ス)の影響があると断言されていた。続いて「ノートをとれない子が増えている。」口頭でポイントを伝えてもメモをしない。教科書の大事だと思ふ部分に赤線を引かせたら、ページ全体が赤で染まってしまうのだ。と言う。

特に気になるのは、休憩時間になると、友達と会話するよりもスマホを取り出して、一人で動画を見る子どもが目につくことだと嘆いていた。(日本の生徒は、一人用ゲームで遊ぶ割合が非常に高いデータがある)

更にこの代表は、「文章を書く能力や能動性は人と話す中で作られていくが、そうした時間がスマホに取られている。他者の考えや物事の本質を読み解く力の低下は、その蓄積の結果だと思ふ」と、この方も危機感をにじませた。

これは、我々とは関係の無いところの話ではない。世の発展と共に出てきた便利品に大きな落とし穴があることを示してくれている。

子どもに豊かな人生を歩んで欲しい望みを叶えるため、我々大人が、このような世の課題を捉え、信念をもって子ども育てに対応していくことが本当に必要な時を迎えていると言える！

話すよりスマホ!?



「体育館シューズ」について 先号に続いてご相談です！



先号でお知らせしました体育館シューズの件です。個人懇談等でご意見等が特になかったことから、前向きに進めています。

ウエムラさんに相談したところ、中学校の上履きとして左のようなシューズを販売しているという情報を得ました。

ラッキーベル会社のスクールシューズです。先号に写真で載せたシューズとあまり変わらず、つま先やかかともしっかりしていて、靴底も安定しています。

値段は、凡そ2,000円の見込みです。

中学校との連携とお求めやすさという

点で、こちらに切り替えていこうと考えています。また、ご意見等お寄せください。

『学習発表会』 12/15(日) 8時35分開始



今週の日曜日です。天気予報では少々冷え込むとされています。場所は体育館なので、足下から冷えると思います、防寒対策をお願いします。

この学習発表会は、演劇や演舞等を重点的に行うというものではありません。普通の授業の延長として考え、子どもたちが学習で身に付けたことをみんなで協働しながら舞台上から発表する会です。

友達の息遣いや動きを感じながら、自分の声や音、動作を重ね合わせる体験を大切にしています。その上で、会場の皆さんに伝わるように努めることを目標にしています。

折角の機会です。一人でも多くの参会者をお待ちしています。お気軽にご参会ください。